

平成19年度

市民公開シンポジウム

テーマ：病院における放射線の被ばくを考える
「CT検査を安心して受けていただくために」

参加費
無料

日時：平成19年11月18日(日) 13:00～
17:00

会場：千葉大学西千葉キャンパス内 けやき会館

〒263-8522 千葉市稻毛区弥生町1-33 (TEL:043-251-1111)

連絡先：(社)日本放射線技術学会事務局
〒600-8107 京都市下京区五条通新町東入東錦屋町167
ビューフォート五条烏丸3F
TEL:075-354-8989/FAX:075-352-2556 URL <http://www.jsrt.or.jp>

内容：第1部



▲携帯電話で情報
を保存できます。

開催趣旨

いまや医療において放射線診療は欠かせないものになっています。しかし、放射線について医療関係者を含め一般市民の理解は残念ながら不十分な状況があります。とくに一般市民のなかには、放射線診療に伴う放射線に対する不安や疑問を抱いている方を多く見受けます。

今回は、「病院における放射線の被ばくを考える」として、「CT検査を安心して受けていただくために」をテーマに、医療放射線に対してわかりやすく、最近の放射線診療と放射線安全について、わが国を代表する専門家と医療関係者、そして一般市民との理解を深めるために、市民公開シンポジウムを開催します。

基調講演1 「放射線画像診断の必要性」

伊東 久夫 (千葉大学医学部附属病院放射線科教授)

基調講演2 「放射線の人への影響」

酒井 一夫 (放射線医学総合研究所放射線防護研究センター長)

第2部 パネルディスカッション 「CT検査を安心して受けていただくために」

- 1) CT検査による被ばくの現状
- 2) CT装置の安全管理
- 3) 看護師の役割について
- 4) 医療報道とマスメディアの役割
- 5) 市民がもつ放射線検査への意識
- 6) 放射線検査を受けたとき

- 西澤かな枝 (放射線医学総合研究所医療放射線防護研究室)
村松 祐久 (国立がんセンター東病院放射線部)
奥 朋子 (千葉大学医学部附属病院看護部)
萩原 博 (株式会社千葉日報社)
碧海 西栄 (ウイメンズ・エナジー・ネットワーク)
郭 正男 (松戸市在住)

第3部 質問と討論

司会：加藤 英幸 (千葉大学医学部附属病院)
小池帆奈美 (千葉県済生会習志野病院)



ご利用の方は11月12日(月)までにご予約下さい。
託児に関するお問い合わせ、お申込は下記までご連絡下さい。
日本放射線技術学会事務局：〒600-8107
京都市下京区五条通新町東入東錦屋町167
ビューフォート五条烏丸3F
TEL:075-354-8989/FAX:075-352-2556
URL <http://www.jsrt.or.jp>



主催：(社)日本放射線技術学会(日本放射線技術学会関東部会) 医療放射線防護連絡協議会

後援：千葉県、千葉市、千葉大学、NHK千葉放送局、(株)千葉日報社、読売新聞千葉支局、(株)ペイエフエム、(社)千葉県医師会、(社)千葉県看護協会、(社)千葉県放射線技師会、日本医学放射線学会、日本歯科放射線学会、日本核医学学会、日本核医学技術学会、日本アイソトープ協会、日本画像医療システム工業会